

令和4年度千葉県救急・災害医療審議会の結果について

【報告1】

救急医療体制の充実強化に向けたワーキンググループの開催結果について

(御意見)

- ・ 特にありません。
- ・ 委員の先生が仰ったように二次救急の受け入れが弱まるという懸念はあるが、両院の高度救命救急センターの申し出は歓迎すべき事である。
- ・ 2月6日(月)に開催された「救急医療体制の充実強化に向けたワーキンググループ」において東葛南部・北部医療圏の委員の方から、東京ベイ・浦安市川医療センター、順天堂大学医学部附属浦安病院の両機関ともセンター指定に前向きに検討する旨の意見が多く聞かれていることを受け、役割を明確にした上で本議案を早期に進めることに賛成します。
- ・ 妥当な内容だと思います。
- ・ ワーキンググループが開催され、具体的な内容が検討されたことは大変喜ばしいことです。救命救急センター、高度救命センターについては病院の要望と地域のニーズを合わせて検討することが大切と思います。
- ・ 特に異論はありません。賛成です。
- ・ ワーキンググループの今後の活動により県全体の救急医療体制の課題が解決されることを期待します。東葛医療圏のセンター指定については異論ありません。

【報告2】

救急医療等業務支援システム(救急搬送一斉照会システム)の導入について

(御意見)

- ・ 特にありません。今後有効に利用されることを期待しています。
- ・ システムとしては素晴らしいが、救急医療機関の負担増にならない運用を望む。できる事ならば、次年度からの歯科医師会の取り組み検討課題である長期休日における歯科的救急医療ネットワークシステムの構築も取り入れられることを希望します。

- ・救急搬送時間の短縮は、千葉県にあって救急医療提供の課題と考えている。
県民に迅速かつ適切な救急医療を提供する支援ツールとして「救急搬送一斉照会本システム」を試行することで搬送時間の短縮につながることを期待する。
- ・情報のやりとりについて、すぐれた手段だと思いますが、現実的な有効性を引き出すためには、運用方法など地域の特性に合わせた工夫が必要と思われます。
- ・システムが上手く機能して、少しでも搬送時間の短縮が図れることを期待します。運用面では院内の誰がどうやって情報をうけるのかなど多くの課題があると思っています。
- ・導入には賛成します。

当院は運用を目指して議論を開始します。

しかし、運用開始には時間がかかる。病院との調整、救急診療体制への組み込み、消防との調整など。

スマート 119 の効果として我々が考えているのは救急隊の負担軽減や滞在時間短縮効果よりは、むしろ、救急外来の効率化ができないかという観点である。

しかし、救急外来の効率化は容易ではなく、時間がかかる。

香取海浜医療圏の医療機関で、どこが導入して、どこがやらないのか早めに教えてください。

- ・現場滞在時間短縮に本当に必要な事は救急医療体制の整備である
一昨年、現場滞在時間が長い常連であった匝瑳消防、香取消防が大きく時間を短縮しましたが、これは当院、消防、地域内病院と協議(千葉県東部地域救急医療ネットワーク)して救急車の流れを変えたからです。
- ・運用にあたっての課題

医療圏の中でも使用する医療機関と使用しない医療機関が混在すれば運用は煩雑となる。

病院側にとっては手間(診療や手続きなど)もコストも負担増になる可能性が高い。

消防側の意見も同じではなく、意見のすり合わせは容易ではない。例えば旭消防は必要ないですが、他の消防が使用するとなると、同一地域でも二つのシステムが混在し、かえって煩雑となる。

試行期間終了後に各消防で運用コストを負担するようになるのは、導入をためらう消防が出てくる可能性が高い。コストベネフィットが小さいと判断する場合が出てくる

上記の点から、現状のままでは現場滞在時間短縮効果は得られない可能性もある。試用

期間終了後(2年後)に各地域で導入の可否を判断するということですが、十分体制が構築されずに試行期間が終わる可能性がある。そうすると各消防や病院はメリットを感じられず、コストも負担することになると撤退する地域も出てくると危惧します。

・意見

県が、現場滞在時間を短縮するという強い意思表示をして、主体的にリーダーシップを持って関わるべきであり、消防や病院が続けられるように必要なコストも負担すべきである。そうしないと短縮は困難

2年間で試行期間は不要でなかったのか？

以前の会議で千葉市の試行事業のデータについて質問した際に、業者は正確なデータを示せませんでした(データを知らない、持っていないというのも業者としての怠慢)。試行期間が短いとは言え、もし、短縮しているデータを示せば問題なく、本格運用でよかったと考えます。

- ・システムの運用方法を県内で統一し、搬送困難事例の早期収容に寄与することを期待します。導入を承認します。

【報告3】

国際医療福祉大学成田病院の災害拠点病院指定について

(御意見)

- ・要件を満たしていると思いますので、指定してよいと判断します。
- ・成田空港を擁する印旛地域に災害拠点病院が増える事は、航空機事故災害に備えるという意味でも重要と考える。
- ・DMAT 資格保有の看護師を雇用することで災害拠点病院の指定基準(未達項目)を満たしており、今後、災害拠点病院としての役割を果たされることを期待する。
- ・妥当と思います。
- ・指定基準を満たした内容で、指定については問題ないものと思います。多くの病院が災害対応を準備することは好ましいことであると思います。
- ・特に異論はありません。賛成です。
- ・指定を承認します。
- ・了解しました。